



関西シクロクロス野洲ラウンド男子決勝スタート

シクリスムエコー No.165 2009年12月号



UCIトラック・ワールドカップクラシクス#1・2 ..... 2  
UCIトラック・ワールドカップクラシクス#3代表選手団 ..... 3



熊本国際ロード2009 ..... 4  
国内自転車競技場の紹介(その4) ..... 4



2009年MTBアジア選手権大会 ..... 5  
第56回全日本プロ選手権BMXレース ..... 6

2009年世界室内自転車競技選手権大会 ..... 7

関西シクロクロスミーティング野洲大会 ..... 8  
第15回日韓対抗学生自転車競技大会 ..... 10  
第4回BMXアジア選手権大会 ..... 12  
アンチドーピングについての基礎知識その4 ..... 13  
2009全日本チーム対抗自転車競技大会 ..... 14  
ベストパフォーマンス記録 ..... 14  
競技大会結果 ..... 15  
ロードレースにおける無線機使用の段階的禁止について ..... 15  
加盟団体だより(4) ..... 15



「指導員」養成講習会/ツール・ド・インドネシア選手団 ..... 16  
訃報/連盟の動き ..... 16



この広報誌は、競輪の補助金を受けて作成しました。

<http://ringring-keirin.jp>

## '09-'10 UCIトラック・ワールドカップクラシクス#1・2



## 中距離の盛が安定した成績

第1戦の盛(中央)



W杯マンチェスター大会は、何時もより暖かく天候に恵まれた気候の中、10月30日から11月1日の3日間行なわれた。

今回の大会は盛一大のポイント6位、スクラッチ5位とW入賞した彼は宇都宮ジャパンカップ終了次の日からの参加である。予選、決勝と苦戦はしたが、手堅く、安定感、力強さが見られたレースであった。ケイリンの佐藤友和は主導権を奪えず敗退。1kmタイムトライアルの新田祐大は1分03秒831で10位。スタートの1周がオーバーペースで後半ペースが落ちタイムが伸びなかった。本人も自覚していたが、このペースでよい。このスピード、経験がなければ次に繋がらない。

スプリントの200mTTに出場した渡邊一成は10秒316の13位タイム

38位で予選通過はならなかった。

チームスプリントは44秒721のタイムで6位。久し振りの44秒台であった。第一走者の成田一也は1周17秒



第1戦ケイリン

882、第2走者は深谷に代わり渡邊が出場し、13秒203。第3走者は新田が頑張り4番目のタイムを記録。各周回の1位チームのタイム差は0秒393、0秒397、0秒582の計1秒372秒である、2年以内にはこの差を詰めなくてはならない。

JKAケイリン(インターナショナルケイリンイベント)はこの4選手と岡部芳幸、吉川誠が出場したが残念ながら1回戦、敗者復活戦とも敗れた。連携作戦も立てはしたが、ことごとく力で潰された。今回注目の深谷知広選手は19日アップ終了後の50mダッシュで腰を痛め急遽欠場した。彼はこの負傷で更に精神的にも成長するだろう。

11月19日から21日には、第2戦ワールドカップ大会が場所を移しオーストラリア・メルボルンのハイセンス競技場で行なわれた。参加した選手は、スプリントは若手の坂本貴史、脇本雄太、深谷知広の3選手と中距離は盛一大、飯島誠のベテラン選手で戦った。スプリントは残念ながら惨敗でその中で、貴重な経験を積んだ。まずチームスプリントは46秒235で7位。ケイリンの深谷は敗者復活で勝ち上がるも2回戦敗退で7-12位決定戦に回り結果11位。1kmTTの坂本はスピードに乗り切れずに1分05秒326で12位。スプリント200mTTでは深谷が10秒514で17位、坂本が10秒703の29位で共に予選突破ならず。4km個人追抜競走に脇本が出場し4分53秒211で12位であった。

皆、ワールドカップ大会は初参加の気負いからか、緊張感とともにタイムを出さなければという強い信念、気合が空回りした。タイムだけを見ると悲惨な結果だがそうとは思わない。今は必ず経験しなければならない過程である。出場している選手は皆、生活を賭けているプロである。彼らが上を狙うにはそれなりの準備と心構えがもっと貪欲でなければならない筈だ。その中で、何時もどうり緊張の中、マイペースに調整し結果を出したのはポイント7位、スクラッチ、9位の盛一大である。マディソンでも彼と飯島誠が11位と世界と互角の戦いをした。彼らはいつ優勝しても不思議ではない実力を持っている。彼らの大会に賭ける姿勢、意



第2戦の盛(中央)



第1戦のベロドローム

気込みを学んでほしい。今はタイム的にはかなりの距離がある。しかし、単純な練習を繰り返し、彼らに近づいて行かなければならない。このような挫折は誰でも必ずある筈である。但し、それを思い出とせず踏み台にし、更なる上を目指そう。(阿部 良二)

### 【競技結果】

#### '09-'10UCIトラック・ワールドカップ・クラシクス#1 (2009/10/30-11/1 イギリス・マンチェスター)

##### 男子スプリント

1	HOY Chris	SKY	
2	CRAMPTON Matthew	GBR	
3	KENNY Jason	GBR	
13	渡邊 一成	JPCA 福島	1/4 B 決勝敗退
38	佐藤 友和	JPCA 岩手	予選敗退

##### 男子1kmタイムトライアル

1	NIMKE Stefan	GER	1:01.293
2	DANIELL David	GBR	1:01.698
3	WANG Chongyang	CHN	1:02.228
10	新田 祐大	JPCA 福島	1:03.831

##### 男子ケリッ

1	HOY Chris	SKY	
2	VOLIKAKIS Christos	GRE	
3	LEVY Maximilian	GER	
20	佐藤 友和	JPCA 岩手	1回戦敗退

##### 男子スクラッチ (15km)

1	KOVALEV Ivan	RUS	
2	BUJKO Lukasz	POL	
3	LAGKUTI Sergiy	UKR	
5	盛 一大	愛知 愛三工業レーシング	

##### 男子ポイントレース (30km)

1	NEWTON Chris	GBR	37p
2	KWOK Ho Ting	HKP	33p
3	KLUGE Roger	GER	33p
6	盛 一大	愛知 愛三工業レーシング	27p

##### 男子チームスプリント

1	TEAM SKY + HD	43.423
2	Great Britain	43.818

3	Germany	43.683
6	日本 成田・渡邊・新田	44.721

##### インターナショナル・ケリッ

(2009/11/1 イギリス・マンチェスター)

##### 男子ケリッ

1	CRAMPTON Matthew	GBR	
2	VOLIKAKIS Christos	GRE	
3	AWANG Azizulhasni	BTA	
13	成田 和也	JPCA 福島	1回戦敗退
16	吉川 誠	JPCA 神奈川	1回戦敗退
16	佐藤 友和	JPCA 岩手	1回戦敗退
16	新田 祐大	JPCA 福島	1回戦敗退
19	渡邊 一成	JPCA 福島	1回戦敗退
	岡部 芳幸	JPCA 福島	DSQ

#### '09-'10UCIトラック・ワールドカップ・クラシクス #2 (2009/11/19-21 オーストラリア・メルボルン)

##### 男子スプリント

1	PERKINS Shane	JAY	
2	SIREAU Kevin	COF	
3	CRAMPTON Matthew	GBR	
17	深谷 知広	JPCA 愛知	予選敗退
29	坂本 貴史	JPCA 青森	予選敗退

##### 男子1kmタイムトライアル

1	SUNDERLAND Scott	JAY	1:02.171
2	WANG Chongyang	CHN	1:02.204
3	MULDER Teun	COF	1:02.404
12	坂本 貴史	JPCA 青森	1:05.326

##### 男子ケリッ

1	BERGEMANN Carsten	GER	
2	AWANG Azizulhasni	BTA	
3	NG Josiah	MAS	
11	深谷 知広	JPCA 愛知	

##### 男子4km個人追抜競走

1	SERGEANT Jesse	NZL	4:23.192
2	DENNIS Rohan	AUS	4:24.374
3	SHCHEDOV Vitaliy	UKR	4:32.106
12	脇本 雄太	JPCA 福井	4:53.211

##### 男子スクラッチ (15km)

1	SCULLY Thomas	NZL	
---	---------------	-----	--

2	BUJKO Lukasz	POL	
3	SHMALKO Viktor	KTA	
9	盛 一大	愛知 愛三工業レーシング	-1lap

##### 男子ポイントレース (30km)

1	MEYER Cameron	AUS	33p
2	TAMOURIDIS Ioannis	GRE	33p
3	BUJKO Lukasz	POL	28p
7	盛 一大	愛知 愛三工業レーシング	21p

##### 男子マディソン

1	New Zealand	15p
2	Germany	8p
3	Ukraine	5p
11	日本 飯島・盛	(-1lap) 2p

##### 男子チームスプリント

1	TEAM JAYCO	44.589
2	Germany	44.673
3	Russia	45.206
7	日本 深谷・坂本・脇本	46.235

### 2009-2010 UCIトラックワールドカップ 第3戦 日本代表選手団

大会名 2009-2010 UCIトラック  
ワールドカップ 第3戦

開催場所 コロンビア・カリ

大会期間 2009年12月10日～12日

派遣期間 2009年12月5日～15日

代表選手団

監督 阿部 良二 (JCF 強化コーチ)  
メニク 森 昭雄 (JCF 強化スタッフ)  
マッサー 酒井 修 (JCF 強化スタッフ)  
選手 新田 祐大 (JPCA・福島)  
脇本 雄太 (JPCA・福井)  
佐々木 龍 (神奈川・早稲田大学)

日本の航空

Dream Skyward. **JAL**

世界の空でお逢いしましょう。



www.jal.co.jp

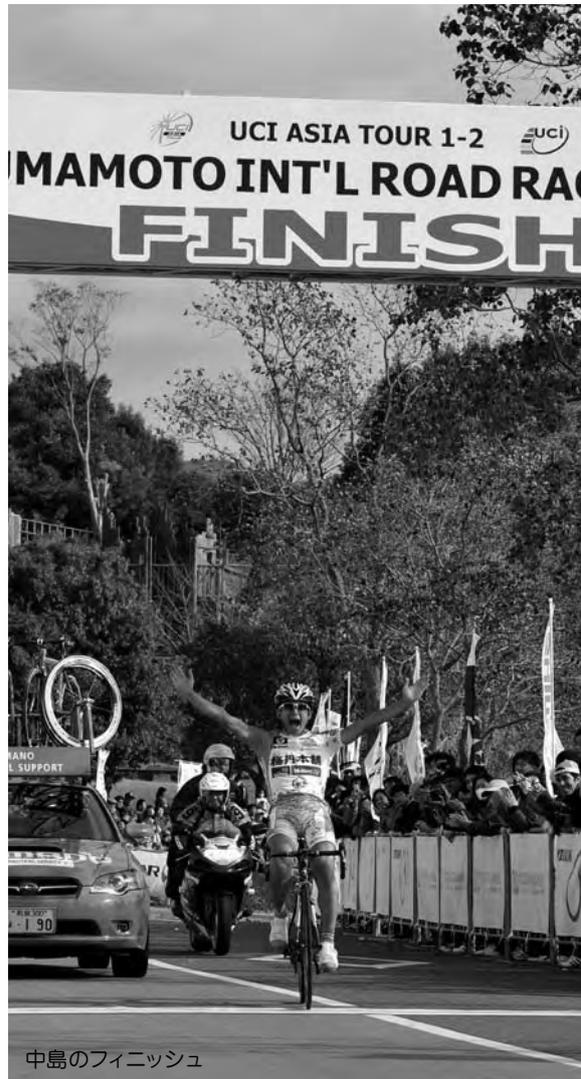
one world member  
years

# 熊本国際ロード2009 (UCIアジアツアー 1.2)

エキップアサダが表彰台を独占!



鞠智城前をスタート



中島のフィニッシュ

11月15日、昨年「ツール・ド・コリアー・ジャパン」が開催された熊本県山鹿市において、UCIアジアツアーの熊本国際ロード2009が催された。

昨年より一回り小振りになった、13.6kmの周回コースを12周する個人ロードレース、13チーム69名の選手が鞠智城をパレードスタート。

本年最後の国際レースを制したのは、今年の国体ロードレースを制したエキップアサダ梅丹本舗の中島康晴で、上位3名を同チームが独占する結果となった。

## 【競技結果】

熊本国際ロード 2009  
(2009/11/15 熊本・山鹿)

個人ロードレース (164.5km)

- |    |                |              |         |
|----|----------------|--------------|---------|
| 1  | 中島 康晴          | EQA梅丹本舗      | 4:28:55 |
| 2  | 福島 晋一          | EQA梅丹本舗      | 4:29:55 |
| 3  | 清水 都貴          | EQA梅丹本舗      | 4:30:19 |
| 4  | 鈴木 真理          | スマルレーシングチーム  | 4:30:27 |
| 5  | 佐野 淳哉          | チームニッポ・コルナゴ  | 4:30:34 |
| 6  | 井上 和郎          | チームニッポ・コルナゴ  | 4:31:30 |
| 7  | 清水 良行          | BLITZEN 宇都宮  | 4:32:40 |
| 8  | CHOI Jong Gyun | KOREA        | 4:32:40 |
| 9  | 普久原 奨          | プリヂェストーンアンカー | 4:32:51 |
| 10 | ZHANG Wenlong  | CHINA        | 4:33:42 |

## 国内自転車競技場の紹介 (その4)

競技場名：新庄サイクルスポーツセンター  
 住 所：新庄市大字鳥越字南沢山神沢 2580  
 電 話：0233-22-0681  
 周 長：400メートル  
 幅 員：7.2～10.2メートル  
 路面傾斜：(最大) 33° 18' 53"  
 ホームページ：  
<http://www.city.shinjo.yamagata.jp/373.html>



# 2009年MTBアジア選手権大会

## 3つの金メダルを獲得!



今年のMTBアジア選手権は、マレーシアのマラカで行なわれた。この場所は10年前に同選手権が開催された場所でもある。また、本年は第1回目のジュニア・MTBアジア選手権も併催されており、日本チームとしては参加種目完全制覇を目指して大会に臨んだ。

### DHI

コースは小高い丘に設定されていたため、斜行してスイッチバックを繰り返す単調なものであった。そのため傾斜が緩く、とてもダウンヒルと呼べるコースではなかった。そこでUCIから派遣された技術代表と交渉し、コースを一部変更してもらった。それでもコースは単調で、技術よりも体力勝負の感が否めなかった。

ジュニアクラスには清水が出場した。予選を1位で通過するものの、2位との差は3秒弱で油断できない状態だった。決勝は1.3秒の差であったが優勝し、初代ジュニア・アジアチャンピオンに輝いた。



ダウンヒルの未政

女子エリートには末政と飯塚が出場した。末政は世界ランキング上位者の実力をいかんなく発揮し、7連覇(通算9勝目)を果たした。

男子エリートには井手川と永田が出場した。予選ではインドネシアが1位であり、しかも5秒空けられたため緊張が走った。決勝ではさらなるタイム短縮を目指すも、逆転ならず、3連覇を達成することはできなかった。

### XCO

1周約6kmのコースを女子は6周、男子は7周で競われた。毎々のスコールによってコースはドロドロだったが、決勝前日のスコールが少なかったせいでコース状況が回復し、当日になって周回数が1周増えるという前代未聞の事態であった。

女子エリートには片山と中込が出場した。強豪の中国はRenとLiuのオリンピック組が参加しており、この二人の牙城をいかに崩すが今回の課題であった。1周目、先行するRenを15秒差で片山が追う。その後は差を徐々に広げられたが、3分差で2位となった。

男子は山本、辻浦、平野の3人が出場した。XCOは個人レースとはいえ、アジア選手権は国と国の戦いである。山本、辻浦がレースを牽引し、平野には抑え役を命じてレースに臨んだ。結果、各選手がそれぞれの役割を完璧に全うし、5年ぶりとなるアジアチャンピオンの座を獲得することができた。

### まとめ

DHI男子は優勝を逃してしまった。これはアジア選特有のフラットなコース、信頼しきれない計測システム等々色々な不安要素によるものであろうが、どんな状況でも勝たなくては意味がない。この結果を真摯に受け止め、次回は必ず雪辱を

果たしたい。XCO女子では片山が善戦した。特にこれまで全く刃が立たなかった中国に一矢報い、1位との差を3分でまとめることができたのは素晴らしい進歩である。男子ではチーム戦をうまく展開することができた。5年前、はじめてのアジア選で駒として使われた山本が、今は駒を使い貪欲に勝利を狙う。少しずつではあるが、チームとしても確実に進歩しているのを実感できた大会であった。(西井 匠)

### 【競技結果】

第15回アジアマウンテンバイク選手権大会  
第1回ジュニアアジアマウンテンバイク選手権大会  
(2009/11/5-8 マレーシア・マラカ)

#### DHI 男子エリート

- 1 ARIYO SEJATI Popo INA 2:39.498
- 2 井手川直樹 広島 EVIL 2:43.617
- 3 JARUPENG Tanaphon THA 2:50.283
- 4 永田 隼也 神奈川 YETI/FFC 2:51.280

#### DHI 女子エリート

- 1 末政 実緒 兵庫 FunFancy 3:01.597
- 2 SUSENTY Risa INA 3:16.933
- 3 PRADUPYARD Ausanee THA 3:29.141



- 4 飯塚 朋子 大阪 Corratec 3:31.711

#### DHI 男子ジュニア

- 1 清水 一輝 愛知 AKI Fact. 2:56.011
- 2 ATOSMA KATANA Hildan INA 2:57.320
- 3 MOHD FAUZI Muhammad Aim MAS 3:05.688



#### XCO 男子エリート

- 1 山本 幸平 北海道 BSアソカ 1:45:59



- 2 CHAN Chun Hing HKG 1:46:11
- 3 KAZANTSEV Kiril KAZ 1:48:00
- 11 平野 星矢 長野 Bikeranch 1:53:41
- 辻浦 圭一 奈良 BSアソカ DNF

#### XCO 女子エリート

- 1 REN Chengyuan CHN 1:41:42
- 2 片山 梨絵 神奈川 Specialized 1:44:58
- 3 LIU Ying CHN 1:51:07
- 4 中込由香里 長野 SY-Nak 1:52:49

# 第56回全日本プロ選手権 BMXレース

## 初代チャンピオンの稲川が2連覇!



この大会は競輪の補助金を受けて実施されました



全プロ決勝、先頭を行く稲川



同時開催のエキシビジョン

11月8日、日本サイクルスポーツセンターに新設されたBMX競技場において、第56回全日本プロ選手権のBMX競技が行われた。

全プロ以外にエキシビジョンで他のクラスも同時開催され、早いテンポで予選から決勝まで進められていった。

最終のプログラムはもちろん「全プロ」の決勝で、初代チャンピオンである稲川が見事2連覇を飾った。

### 【競技結果】

第56回全日本プロ選手権自転車競技大会 (2009/11/8 静岡・日本CSC)

#### BMX 競技

- |   |    |    |   |   |
|---|----|----|---|---|
| 1 | 稲川 | 翔  | 大 | 阪 |
| 2 | 滝川 | 秀嗣 | 愛 | 知 |
| 3 | 木本 | 賢二 | 大 | 阪 |
| 4 | 小林 | 信晴 | 愛 | 知 |
| 5 | 林  | 次郎 | 福 | 岡 |
| 6 | 関  | 靖夫 | 埼 | 玉 |
| 7 | 原田 | 和明 | 千 | 葉 |
| 8 | 平沼 | 由充 | 福 | 島 |

# 2009年世界室内自転車競技選手権大会

各種目で苦戦を強いられる



10月31日(土)に日本を出発し、同日ドイツ/フランクフルトに入った。フランクフルトスポーツ学校で3日間大会前調整し、4日(水)に現地ポルトガル Tavira に移動した。

11月6日(金)大会一日目、ドイツに1:11とグループAの厳しい洗礼を受ける初戦スタートとなった。

11月7日(土)大会二日目、チェコとの第2戦を2:9と敗れ、第3戦は今大会Aグループに復帰した名門ベルギー戦。今大会の鍵となる対戦であったが3:11と敗れ、残り2試合を待たずして、グループA残留をかけたフランスとの入替戦に廻ることが濃厚となった。その後、スイス戦は1:10、オーストリア戦は1:3で、グループA6位が決定した。

11月8日(日)大会三日目の対フラ

ンスとの入替戦は、前半2:2で折り返すも、後半4分オウンゴールの1点が決勝点になり2:3と敗れた。日本は2年後2011年開催の鹿児島大会に向け、来年のドイツ大会でのグループA復帰を目指すこととなった。

サイクルフィギュア男子シングルは、大会2日目に芝山耕輔が自己ベストのパフォーマンスを発揮し、得点40.04(24位)は今後の大きな期待となった。続いて芦田史朗は、おしくも落車からリズムを崩し得点は78.45で17位。本人不本意な結果を糧に今後の奮起を期待したい。

最終日、女子シングル世界大会初出場の佐藤風沙は、前半順調に演技をこなしたが、後半ウィーリーハンドパーシートの移行で落車して、その後の演技でポイントが伸び悩み、得

点31.82で24位の結果となった。しかし、彼女の堂々たる演技は今後の努力次第で、日本選手初の世界大会入賞の可能性を感じるものであった。

サイクルサッカーは、世界のトップレベルにあるものの、勝ちきることの難しさを改めて知らされた大会であった。木下・松田には来年の世界大会でグループA復帰を果し、2011年鹿児島大会では3位入賞を目指して欲しい。サイクルフィギュアは男女ともに、若手の台頭とベテランの更なる向上を期待したい。(佐藤 康彦)

## 【競技結果】

2009年世界室内自転車競技選手権大会 (2009/11/6-8 ポルトガル・タヴィラ)

### サイクルサッカー グループ A

- 1 Marcel Waldspühl / Peter Jiricek SUI
- 2 Matthias König / Uwe Berner GER
- 3 Dietmar Schneider / Simon König AUT
- 4 Jiri Hrdlicka / Radim Hason CZE
- 5 Christoph Baudu / Rik Deuvaert BEL
- 6 木下 直也・松田 鋼 JPN

### サイクルフィギュア男子シングル

- 1 David Schnabel GER 194.39p
- 2 Florian Blab GER 177.29p
- 3 Sum Yee Samuel Yu HKG 148.9p
- 17 芦田 史朗 千葉 京滋ブルーレイク 78.45p
- 24 芝山 耕輔 東京 東京輪球会 40.04p

### サイクルフィギュア女子シングル

- 1 Corinna Hein GER 172.19p
- 2 Sandra Beck GER 163.35p
- 3 Denise Boller AUT 154.51p
- 24 佐藤 風沙 京都 京滋ブルーレイク 31.82p



サイクルサッカー日本チーム(右)



サイクルフィギュア

# 関西シクロクロスミーティング野洲大会 (UCI-2)

男子は辻浦が圧倒的な勝利!



湖岸の砂上を行く男子



チャンピオン辻浦

11月22日、UCI-2クラスの関西シクロクロスミーティング野洲ラウンドが、滋賀県の琵琶湖に面したピワコマイアミランドで開催された。

各選手が砂地獄に苦しむ中、男子は圧倒的な強さでプリヂストーンアンカーの辻浦圭一が独走でフィニッシュ。女子は森田正美と豊岡英子の一騎打ちとなったが、結果は森田の勝利となった。



独走する辻浦



2位の小坂(先頭)と4位の竹之内

水際を行く豊岡を砂上の森田が追い抜く



豊岡(左)と森田



他のクラスの間で森田がフィニッシュ

**【競技結果】**

関西シクロクロスミーティング 野洲サウンド (UCI-2)  
(2009/11/22 滋賀・ビワコアマミランド)

**男子U23・U23 (2.5km × 9)**

- 1 辻浦 圭一 奈良 BS アンカー 1:01:07
- 2 小坂 正則 長野 スワローシング 1:02:43
- 3 丸山 厚 長野 MASSA 1:02:58



- 4 竹之内 悠 京都 TREK 1:03:09
- 5 小坂 光 長野 BLITZEN 1:05:18
- 6 山本 聖吾 長野 スワローシング 1:05:56
- 7 合田 正之 東京 3UP 1:06:30
- 8 中間森太郎 埼玉 埼玉県人 1:06:42
- 9 池本 真也 神奈川 和光機器 1:07:28
- 10 松井 正史 京都 シノボリキョウ 1:07:33

**女子U23 (2.5km × 5)**

- 1 森田 正美 神奈川 BS アンカー 41:41
- 2 豊岡 英子 大阪 パナソニックレディース 42:10
- 3 志村みち子 埼玉 ラグ・ニール 43:21



- 4 宮内佐季子 静岡 CLUB viento 44:27
- 5 福本 千佳 大阪 Ready Go J 47:10
- 6 中道のぞみ 京都 SalataBianca 50:55
- 7 武田 和佳 埼玉 ARAI 51:20
- 8 埜真 賢美 岡山 Team クルーズ 44:28
- 9 光田 真基 三重 EastWest 45:24
- 10 上田 順子 大阪 クラブ シルベスト 46:59

# 第15回 日韓対抗学生自転車競技大会

日本チーム総合優勝!



## 10月31日(土)

羽田空港 10 時集合後、ユニホームの配布、荷物のチェック、搬入をすませ 13 時 05 分の大韓航空で金浦空港へ向かう。当日の体調不良者もなく予定通り(15 時 25 分)無事に金浦空港に到着。韓国車連が準備をしてくれていたトラックに自転車を積み込み 16 時 30 分にバスで開催地の全州に移動をする。ソウルの交通渋滞は祭日といえ半端なものではなく、日本でいえば、正月がお盆の帰省ラッシュのように高速道路は混んでいて、全州に着いたのは、22 時を過ぎていた。とりあえずミーティングを簡単に済ませ、夕食をとり就寝につかされた。

## 大会 1 日目 11 月 1 日(日)

7 時の朝食後、9 時にホテルを出発し競技場に入り自転車の組み立てと整備をすませるが、前日からの雨が残りコンクリートにペイントをしてるだけのバンクである。地元の選手も走路が乾かないと練習をしないと朴 敏午(富士大学)が言うほど、非常に滑りやすくバンク練習ができない路面のため、ローラーで身体をほぐす程度、走れる状態になるまで待機をしていた。雨の影響もあり、気温が低く選手のコンディションづくりは思うようにできない状態であった。また、バンクの路面もかなり悪く慣れるまで時間がかかるように見えた。日本チームの練習の合間に地元の女子中学生のバンク練習を見ることができ、練習内容と指導の厳しさは女子指導に何らかの役に立つようにも思った。

予定通りに 15 時からスプリントの予選を行い、大学の部の阿部が 11 秒 368(2 位)、石倉 11 秒 624(3 位)、高校の部の末木 11 秒 559(1 位)、伊藤 11 秒 822(4 位)、女子の部前田 13 秒 073(3 位)、近藤 13 秒 746(4 位)で予選を終了する。

## 大会 2 日目 11 月 2 日(月)

前日の雨の影響が、気温が 5 度、風も強く日本では真冬の時期の体感温度でかなり厳しいコンディションの中でレースをすることになる。

インディヴィデュアルパーシュートの決勝が各カテゴリー 4 名で 9 時 10 分から始まり、大学生の部は井関が 5 分 21 秒 240 で 2 位、湯浅は 5 分 27 秒 642 で 4 位の成績でした。

高校の部は、矢野が 3 分 54 秒 415 で 2 位、元砂は 3 分 55 秒 808 で 3 位でした。女子の部は、2km で行われ上野が 2 分 45 秒 572 で 1 位、和田見が 2 分 49 秒 643 で 2 位の結果でした。日本での練習時間が季節的に十分にとれないところもあり、タイムは選手個人のベストタイムにはほど遠い記録ではあると思うが、寒さと風の中よく集中力を切らさないで走ったと思う。

開会式を挟み、スプリントの準決勝が行われ、男子は同国同士で行い、大学生は阿部が決勝へ、高校生は末木が決勝に上がり、女子は、前田が PARK, HYEON, SOON にストレートで勝ち決勝へあがった。

タイムトライアルは 500m で前田が 38 秒 520 で 1 位、野村は 40 秒 645 で 4 位の成績でした。前田の当日のコンディションを考えても良いタイムであり来年度への期待はかなりできるように思われる。男子大学生の 1kmTT は櫻井が 1 分 10 秒 402 で



ケイリンスタート

## 1kmTT オープン参加の朴



1位、阿部が1分14秒163で3位、高校生は末木が1分13秒460で1位、伊藤は1分15秒161で4位の結果でした。櫻井はギヤを(50×14)巧く使いこなせる能力は体力的にも走法も素晴らしい走りであった。

スプリントの決定戦は、大学は阿部が2位、石倉が3位、高校生は末木が1位、伊藤が3位、女子は前田が1位、近藤は4位という結果でした。末木の先行での良さは、相手と並んだ時の粘り強さにあり素晴らしい走りであった。

団体種目は大学生がチームパーシュート、高校生、女子がチームスプリントで行われた。大学生は石倉、井関、櫻井、湯浅の4人メンバーで4分54秒864で負けはしましたが、最後までチームワーク良く走り感動を与えてくれたと思います。チームスプリントは伊藤、福田、末木の並びで1分10秒329で1位、女子は近藤、前田の並びで52秒217で2位でした。女子の並びはいつもの逆でスタートをしたが休憩時間があればもっといいタイムが出たように思われる。

ケイリンは櫻井、石倉、福田の3名が出場し、4番手から3名が並ぶ展開になったが、残り2週のバックから櫻井の捲りが爆発し、ゴールをジャパンチーム3名が先着した。結果は櫻井1位、石倉2位、福田3位と最高の結果であった。

最終種目は男女のポイントレースで、女子は16kmの10名の出走で完走者は5名。上野、和田見の走りはレースの展開を見ながらチームプレーも完璧な走りで上野が1位、和田見が2位の結果であった、目を引いたのが近藤のポイントレースで経験と持久力を

伸ばせば、長距離種目の選手としても走れるように思った。

男子は24kmの20名で行われ、完走者7名のサバイバルレースになりました。成績は、元砂が2位、櫻井が4位、湯浅が5位、末木が7位の結果でした。共に全員が出場する

ことになっているレースで、短距離選手の走りはサポートをすることで役割を完全に遂行し、レースを終えていたところもジャパンチームとしての素晴らしいチームワークを見ることができた。大学生のリーダーとしての行動は参加した高校生の参考になったと思います。総合成績は88ポイントで4連覇の結果となり大会を終えることができました。

今大会に係わっていただきました各方面、各関係者に厚く御礼を申し上げます。(徳地末広)

## 【競技結果】

第15回日韓対抗学生自転車競技大会  
(2009/11/2 韓国・全州市自転車競技場)

## 男子大学生

## スプリント

- 1 Kong Tae Uk 昌原大学
- 2 阿部 力也 日本大学
- 3 石倉 龍二 日本大学
- 4 Lee Sung Ho 韓国體育大学

## 1kmタイムトライアル

- 1 櫻井 政孝 東北学院大 1:10.402
  - 2 Jeong Sang Min 韓国體育大 1:11.586
  - 3 阿部 力也 日本大学 1:14.163
  - 4 Jeon Chang Ju 昌原大学 1:15.780
- op 朴 敏 午 富士大学 1:13.930

## 4km個人追抜競走

- 1 Jeong Sang Min 韓国體育大 5:18.131
- 2 井関 太一 朝日大学 5:21.240
- 3 Jeon Chang Ju 昌原大学 5:21.810
- 4 湯浅 徹 明治大学 5:27.642

## 4km団体追抜競走

- 1 韓国 4:54.095
- 2 日本 湯浅・石倉・井関・櫻井 4:54.864

## 男子大学生+高校生

## ケイリン

- 1 櫻井 政孝 東北学院大学
- 2 石倉 龍二 日本大学
- 3 福田 拓也 作新学院高校
- 4 Kong Tae Uk 昌原大学

## ポイントレース(24km)

- 1 Lee Sung Ho 韓国體育大学 69p
- 2 元砂 勇雪 榛生昇陽高校 65p
- 3 Kim Hong Gi 金海建設工業高 59p
- 4 櫻井 政孝 東北学院大学 40p
- 5 湯浅 徹 明治大学 37p
- 7 末木 浩二 甲府工業高校 5p
- 石倉 龍二 日本大学 DNF
- 井関 太一 朝日大学 DNF
- 阿部 力也 日本大学 DNF
- 矢野 智哉 岐南工業高校 DNF
- 伊藤 裕貴 朝明高校 DNF
- 福田 拓也 作新学院高校 DNF

## 男子高校生

## スプリント

- 1 末木 浩二 甲府工業高校
- 2 Hwang Jun Ha 東大田高校
- 3 伊藤 裕貴 朝明高校
- 4 Lee Sun Jung 仁川體育高校

## 1kmタイムトライアル

- 1 末木 浩二 甲府工業高 1:13.460
- 2 Lee Sun Jung 仁川體育高 1:13.660
- 3 Hwang Jun Ha 東大田高校 1:13.940
- 4 伊藤 裕貴 朝明高校 1:15.161

## 3km個人追抜競走

- 1 Kim Hong Gi 金海建設工 3:50.798
- 2 矢野 智哉 岐南工業高 3:54.415
- 3 元砂 勇雪 榛生昇陽高 3:55.808
- 4 Ki Kwang Hoon 米院工業高 4:02.602

## チームスプリント

- 1 日本 末木・伊藤・福田 1:10.329
- 2 韓国 1:10.531

## 女子

## 500mタイムトライアル

- 1 前田佳代乃 鹿屋体育大学 38.520
- 2 Hong Hyun Ji 全南美容高校 38.830
- 3 Park Hyeon Soon 全北體育高校 39.973
- 4 野村くるみ 内灘高校 40.645

## スプリント

- 1 前田佳代乃 鹿屋体育大学
- 2 Hong Hyun Ji 全南美容高校
- 3 Park Hyeon Soon 全北體育高校
- 4 近藤 美子 鹿屋体育大学

## 女子2km個人追抜競走

- 1 上野みなみ 八戸工業高 2:45.572
- 2 和田見里美 中京大学 2:49.643
- 3 Youn Ah Young 仁川體育高 2:51.906
- 4 Kim Hyun Ji 木川高校 2:58.547

## ポイントレース(16km)

- 1 上野みなみ 八戸工業高校 64p
- 2 和田見里美 中京大学 57p
- 3 Youn Ah Young 仁川體育高校 57p
- 4 近藤 美子 鹿屋体育大学 55p
- 前田佳代乃 鹿屋体育大学 DNF
- 野村くるみ 内灘高校 DNF

## チームスプリント

- 1 韓国 51.453
- 2 日本 前田・近藤 52.217

## 総合成績

- 1 日本 88p
- 2 韓国 65p

# 第4回BMXアジア選手権大会

阪本章史が銀メダルを獲得!



4回目を迎えたBMXアジア選手権、今年の舞台はホンコンチャイナ。この大会と12月に控えた東アジア大会に向けて整備されたプロセクションも設定されるレーストラックでの大会だ。年々改善こそされているものの、各地にレーストラックが点在する日本や、北京五輪を開催した中国を除けば、まだまだBMXレースは発展途上のアジア地域。これまでのアジア選手権では慣れない環境に適應することも要求されたが、香港のコースは真の実力が発揮されるもので、アジア地域のさらなるレベルアップにつながる大会ともいえる。

参戦した日本チームは世界選手権での鎖骨骨折で全日本チャンピオンの三瓶将廣こそ欠いたものの、北京五輪代表の阪本章史をはじめとしたベストメンバーに限りなく近い5人のメンバー。男子の3人は三連覇を許している香港のステイブン・ウォンに、女

子の2人はアジア地区ナンバー1の実力を持つ中国勢がライバル。悲願のチャンピオン獲得を目指し、前日のプラクティスではコース攻略の情報交換を重ねながらレースに臨んだ。

3つのモトに分かれた予選から準決勝のレースでマージンを残しつつ順当に決勝へと進んだ男子日本チーム。スタートでは阪本がリードするものの、ストレートの伸びで勝った地元香港のウォンに第1コーナーでの先行を許してしまう。阪本をはじめとした日本人選手がウォンを追いかける展開になり、前に出るチャンスをうかがったが捉えることはできなかった。アジアタイトルという結果を残すことはできなかったものの、阪本章史が2位、高山祐次郎が3位、さらに藤原海渡が続き、日本勢の実力の高さが垣間見えたレース

だった。女子は飯端美樹が好スタートを見せて一時3位を走るものの、中国勢が追い上げ5位。スタートで出遅れた三輪郁佳は果敢に追い上げるものの、メダルにはわずかに届かず4位に終わった。男女ともにアジアタイトル獲得こそかなわなかったが、来年の大会に向けての課題を明らかにすることができたレースだった。2位では決して終わらず再起を誓った日本チームの今後の活躍に期待したい。(猪俣 健一)

## 【競技結果】

第4回BMXアジア選手権大会  
(2009/10/31 ホンコ・チャイ)

### 男子1/2

1	WONG Steve	HKG	29.94
2	阪本 章史	大阪 UN Authorized	30.65
3	高山祐次郎	埼玉 Groovy Fact.	31.35
4	藤原 海渡	神奈川 MBK	32.40
5	SYARIFUDIN Tony	INA	34.36
6	KLINSURAI Narong	THA	34.74
7	ADMADI Puguh	INA	37.24
8	Suh Ikjoon	KOR	39.50

### 女子1/2

1	JIANG Nan Nan	CHN	34.42
2	MA Li Yun	CHN	35.28
3	LIAO Zhi Xin	CHN	36.42
4	三輪 郁佳	広島 Free Agent	36.46
5	飯端 美樹	大阪 STAATS	36.80
6	KHAOSUMAN Thaksaporn	THA	39.47
7	Park Mini	KOR	40.15





## アンチドーピング についての基礎知識

その4



### 元選手の立場から（沖 美穂）

<沖さんへの質問>

① **沖さんは現在、研修中と伺ったのですが、どのような内容の研修か教えていただけますか？**

日本オリンピック委員会海外コーチ研修生としてイタリアを拠点にレースやライセンス講習等に行き自転車の競技についてロード中心に勉強している最中です。

② **選手時代の思い出で一番印象が深かったことをあげるとすると？**

初めて1人でヨーロッパに向かう飛行機の中。

③ **ドーピング検査で何か思い出がありますか？**

上半身も裸になってコントロールを受け尿採取後に使用したトイレトペーパーも水に流せなかった事。

④ **レースを戦うにあたってこころがけていたことはありますか？**

ただ一生懸命走るのではなく毎回小さな目標と試みをしていた。

⑤ **海外のレースと日本のレースの一番の違いは？**

日本ではどんな理由があっても勝たないといけない雰囲気。

⑥ **アンチドーピングに対して日頃心がけていたことはありましたか？**

薬は市販のものを使用しない。

⑦ **アンチドーピング運動にアドバイスがありましたらお願いします。**

特にないです。

⑧ **自転車競技に対する国内女性選手と外国選手の取り組みの違いはありますか？**

日本女性がどんな取り組みをしているか分からないが、外国女子選手はいつも競技の事を考えて生活が回り、ほとんど練習・休養・食事以外の外で何かする事は少ない。

家の中で出来る事をやっている。

⑨ **幼少時代なりたかった職業はありましたか？**

パン屋さんとかケーキ屋さんだったような記憶が。食べ物系だったと思います。

⑩ **連盟の活動に関して何かアドバイスがありますか？**

日本選手が普通に世界で戦えるような環境づくり（選手・スタッフ強化）。

⑪ **競技者として食生活に関して何か注意していたことはありますか？**

私は太りやすく食べ過ぎの傾向があったので、とにかく食べ過ぎない様に気を付けていました。

⑫ **後輩選手へのアドバイスをお願いします。**

女子選手に言えるのであれば、世界で活躍したいのか!?日本で活躍したいのか!?で活動内容が変わって来ると思います。

まずは自分の目標とするものをしっかり立てた上で、トレーニングを特別なものから日常的なものに変えていく事がポイントになっていくかもしれません。

# 2009 全日本チーム対抗自転車競技大会



小中学生男女も参加



- 2 沼部早紀子 静岡 マットローチェ 41.261
- 3 越田恵美子 石川 松寿園 41.546
- 4 中村由香里 大阪 ナカワラス 43:092
- 5 岩出 愛未 愛知 瀬戸北高校 43.391
- 6 浅田 聖奈 愛知 豊田高校 43:649

女子チームスプリント

- 1 静岡 鈴木・杉澤 42.296
- 2 愛知 岩出・浅田 42.347

中学生男女 250mタイムトライアル

- 1 谷本 奨輝 富山 高岡丘陵中 22.513
- 2 高石 也美 神奈川 旭ヶ丘中学 23.716
- 3 鈴木 康平 静岡 元吉原中学 23.982
- 4 鈴木 奈央 静岡 元吉原中学 24.757
- 5 水野 莉子 静岡 興誠中学校 26.194

中学生男女 500mタイムトライアル

- 1 谷本 奨輝 富山 高岡丘陵中 41:080
- 2 鈴木 奈央 静岡 元吉原中学 44.390
- 3 高石 也美 神奈川 旭ヶ丘中学 44.432
- 4 鈴木 康平 静岡 元吉原中学 45.949
- 5 水野 莉子 静岡 興誠中学校 46.352

小学生男女 250mタイムトライアル

- 1 竹浪 啓介 静岡 長伏小学校 25.041
- 2 三輪 晶子 静岡 長泉小学校 27.343
- 3 黒川祐次郎 静岡 大池小学校 28.372
- 4 野寺 楓 静岡 大見小学校 28.393
- 5 野寺 歩夢 静岡 大見小学校 30.478
- 6 田島 可惟 静岡 富士第二小 31.002



【競技結果】

2009全日本チーム対抗自転車競技大会  
(2009/11/3 静岡・日本CSC 250m)

男子200mフライングタイムトライアル

- 1 和田真久留 関東 11.130
- 2 高橋 龍也 高体連 12.310
- 3 水野 悟志 実業団 12:727
- 4 大橋 庸平 中部 12.787

男子250mタイムトライアル

- 1 亀山 尊仁 関東 19.712
- 2 松本 諒太 中部 19.986
- 3 門間 直人 高体連 20:336
- 4 山河 友貴 実業団 20.555

男子1kmタイムトライアル

- 1 横関 裕樹 中部 1:10.294
- 2 高宮 佑介 高体連 1:12.835

男子チームスプリント

- 1 中部 大橋・松本・森下 52.226

- 2 高体連 高宮・門間・高橋 52.880

男子4km団体追抜競走

- 1 中部 加藤・高橋・中島・横関 4:48.039
- 2 実業団 水野・栗田・山河 5:12.949

総合成績

- 1 中部 22点
- 2 高体連 12点
- 3 関東 10点
- 4 実業団 6点

女子200mフライングタイムトライアル

- 1 石井 寛子 茨城 スーパースポーツ 12:916
- 2 越田恵美子 石川 松寿園 13.726
- 3 杉澤 彩 静岡 聖陵高校 14.393
- 4 岩出 愛未 愛知 瀬戸北高校 14.402
- 5 沼部早紀子 静岡 マットローチェ 14.438
- 6 中村由香里 大阪 ナカワラス 14.508

女子500mタイムトライアル

- 1 石井 寛子 茨城 スーパースポーツ 38.513

● ベストパフォーマンス記録  
飯島規之選手が更新!

10月11日、シドニー2009ワールドマスターズゲームで、飯島規之(JPCA・JPCU 埼玉)が3km個人追抜競走「40～44才の部」予選に出場し、これまでのマスターズ男子ベストパフォーマンスのイギリスのShaun Wallaceの3分29秒809の記録を上回る3分27秒826の記録を達成した。

# 競技大会 結果

大会名、チーム名等については略して記載

## ツール・ド・おきなわ2009 (2009/11/7-8 沖縄・名護他)

### 第1ステージ (1.1km)個人タイムトライアル

1	PALMER Thomas	DRAPAC	1:08.51
2	宮澤 崇史	EQA 梅丹本舗	1:09.47
3	LEWIS Joseph	DRAPAC	1:10.49
4	KIRSIPUU Jaan	LeTua	1:10.75
5	阿部 嵩之	SMN シムレーシング	1:10.80
6	野中 竜馬	KNY 鹿屋体育大	1:11.23
7	小坂 光	BLZ BRITZEN	1:11.41
8	福島 晋一	EQA 梅丹本舗	1:11.42
9	窪木 一茂	NUC 日本大学	1:11.43
10	内間 康平	OKI おきなわ	1:11.47

### 第2ステージ (200km)

1	伊丹 健治	BGT BSアンカー	5:00:19
2	阿部 嵩之	SMN シムレーシング	5:00:21
3	福島 晋一	EQA 梅丹本舗	5:02:22
4	清水 都貴	EQA 梅丹本舗	5:02:26
5	中島 康晴	EQA 梅丹本舗	5:02:26
6	飯島 誠	BGT BSアンカー	5:02:26
7	鈴木 真理	SMN シムレーシング	5:02:26

8	YEUNG Ying Hon	香港	5:02:26
9	井上 和郎	NEP NIPPO	5:02:26
10	清水 良行	BLZ BRITZEN	5:02:26

### 個人総合成績

1	伊丹 健治	BGT BSアンカー	5:01:22
2	阿部 嵩之	SMN シムレーシング	5:01:25
3	福島 晋一	EQA EQA・梅丹	5:03:26
4	清水 良行	BLZ BRITZEN	5:03:37
5	鈴木 真理	SMN シムレーシング	5:03:37
6	佐野 淳哉	NEP NIPPO	5:03:38
7	清水 都貴	EQA EQA・梅丹	5:03:39
8	井上 和郎	NEP NIPPO	5:03:39
9	中島 康晴	EQA EQA・梅丹	5:03:39
10	飯島 誠	BGT BSアンカー	5:03:40

### 個人総合ポイント賞

1	阿部 嵩之	SMN シムレーシング	チーム 26p
---	-------	-------------	---------

### 個人総合山岳賞

1	JANG Chan Jae	KOR	10p
---	---------------	-----	-----

### 団体総合成績

1	シムレーシング	チーム	15:08:52
2	チームブリヂストンアンカー		15:10:19
3	EQA 梅丹本舗	グラフィックデザイン	15:10:47

### 女子国際レース (85km)

1	WONG Wan Yui	Jamie	HKG	2:42:04
2	萩原麻由子	大阪 あさひ		2:42:04
3	CHOE Sun Ae	KOR		2:42:04
4	森田 正美	神奈川 BSアンカー		2:42:04
5	TSENHG Hsiao-Chia	TPE		2:42:04
6	福本 千佳	大阪 ReadyGoJ		2:42:06
7	牧瀬 翼	佐賀		2:42:06
8	坂田 美紀	兵庫 グランテンプル		2:42:06
9	金子 広美	東京 ケッタマインズ		2:42:06

10	SON Eun Ju	KOR	2:42:06
----	------------	-----	---------

### ジュニア国際レース (130km)

1	Choi Ki Ho	HKG	3:54:45
2	元砂 勇雪	奈良 榛生昇陽高	3:57:48
3	CHEUNG King Lok	HKG	3:57:48
4	木下 智裕	神奈川 六浦高校	3:57:48
5	笠原 恭輔	埼玉 小松原高校	3:57:48
6	黒枝 士揮	大分 日出陽谷高	3:57:48
7	PARK Keon Woo	KOR	3:57:48
8	佐々木 康	宮城 ダイワ飯田	3:57:48
9	安原 大貴	奈良 榛生昇陽高	3:57:52
10	清水 啓佑	東京 日大豊山高	3:57:52

## ロードレースにおける無線機 使用の段階的禁止について

UCI 理事会の決定により、2010 年より、ロードレースにおける、競技者による無線機使用が、段階的に禁止されることになりました。

### 2010 年において禁止される大会は：

- ・世界選手権大会
- ・国際競技日程の、男子 / 女子エリートカテゴリのクラス 2 競技大会
- ・国内競技日程の、男子 / 女子エリートカテゴリの競技大会

### すでに禁止されている大会：

- ・U23 / ジュニア・カテゴリ

## 加盟団体だより (4)

### 長崎県自転車競技連盟

日本の西の果て長崎車連です。2003 年に開催された長崎インターハイ終了後、県内唯一の私立高校自転車競技部も廃部になり、当然全国的な活躍も出来なくなりました。しかし、佐世保市出身で 1988 年ソウルオリンピック出場、国内外で活躍した豊岡 弘氏を 2007 年より県教職員に迎え、県立鹿町工業高等学校に赴任して頂き自転車競技部を創部しました。現在同僚の馬場秀朋先生と、2 人 3 脚で生徒を指導しております。まだまだ力不足で全国レベルにはほど遠いですが、2014 年『長崎がんばらんば国体』に向け強化を図っております。その一環で国体はもちろん成年選手で、選手全体を牽引してくれる人材(選手)も県教職員として募集しております。長崎県で骨を埋める覚悟があり、教員志望で国体で表彰台を狙える強い選手はいません。県車連一同お待ちしております。鹿町工業高校の寮は鉄筋 3 階建・男子のみ入寮で、2 名 1 部屋、3 食付、月 3 万円の格安の料金(入寮時 1 万円必要)。温泉が出る浴場があり、当番で先生方が寮の舎監を担当し、学習環境も抜群です。就職率も 100%。平成 19 年度は国立長崎大学へ、2 名の推薦入学の実績もあります。

小学生・中学生のジュニア自転車教室も、佐世保競輪場を主会場にて毎月開催しており、ジュニア層にも力を注ぎ活気ある連盟を構築しております。私は長崎国体終了後も、現在の県立高校自転車競技部 1 校体制を 2 校、3 校体制に拡げる夢をもち、競技人口増加に努め以前のように長崎県に自転車競技あり!と示したい。更には長崎勢が全国で優勝し自転車競技をマイナースポーツからメジャースポーツへと祈願しております。

最後に私の思いですが・・・!

**「組織運営は堅実に! 強化は着実に! 長崎国体の表彰台は確実に!!」**

**「勝つ喜び! 優勝する喜びを選手、役員、関係者の方々と分かち合いたい!!」**

(事務局長 小野寺 俊幸)

\* 写真は平成 21 年県選手権大会 ジュニアの小学生選手



●日体協公認「指導員」養成専門科目講習会が実施される

平成 21 年 11 月 20 日から 23 日の 4 日間の日程で、静岡県伊豆市・日本サイクルスポーツセンターで(財)日本体育協会公認指導員養成講習会の専門科目が実施されました。



スピーディ・ツール・ド・インドネシア  
2009 日本代表選手団

大会名 スピーディ・  
ツール・ド・インドネシア 2009  
(UCI アジアツアー 2.2)  
開催場所 インドネシア共和国・  
ジャカルタ〜デンパサール  
大会期間 2009 年 11 月 22 日〜12 月 3 日  
派遣期間 2009 年 11 月 20 日〜12 月 4 日  
代表選手団  
監督 福田 公生 (JCF 強化コーチ)  
メカニック 中島 康仁  
(JCF 強化ロード競技部会支援スタッフ)  
マッサージ 森 典隆  
(JCF 強化ロード競技部会支援スタッフ)  
通訳 渡会 菜々  
選手 青柳 憲輝 (栃木・法政大学)  
早川 朋宏 (愛知・法政大学)  
越海 誠一 (大分・日本大学)  
伊藤 雅和 (鹿児島・鹿屋体育大学)  
内間 康平 (沖縄・鹿屋体育大学)

訃報

本連盟参与 鈴木久雄氏 (76 歳) におかれましては、11 月 18 日ご逝去されました。ここに謹んでお知らせします。

連盟の動き (11月上旬〜11月下旬)

- |          |                               |                             |
|----------|-------------------------------|-----------------------------|
| 11 月 5 日 | 平成 21 年度第 7 回広報部会             | 於：東京・日本自転車会館 3 号館 3 階       |
| 13 日     | 第 2 回ジュニア・ロード強化合宿             | 於：静岡・日本 CSC、日本競輪学校 (〜 15 日) |
| 20 日     | 日本体育協会公認指導員養成専門科目講習会          | 於：静岡・日本 CSC 他 (〜 23 日)      |
| 15 日     | 09-10 トラックワールドカップ第 2 戦日本選手団出発 | 於：オーストラリア・メルボルン→帰国 11/23    |
| 20 日     | ツール・ド・インドネシア 2009 日本選手団出発     | 於：インドネシア→帰国 12/4            |
| 24 日     | 第 4 回ロード強化合宿                  | 於：沖縄・名護市 (〜 29 日)           |
| 25 日     | 平成 21 年度第 2 回選手強化委員会          | 於：東京・日本自転車会館 3 号館 4 階       |
| 27 日     | 平成 21 年度第 2 回医科学部会・強化スタッフ合同部会 | 於：東京・日本自転車会館 3 号館 4 階       |
| 29 日     | 平成 21 年度第 6 回ジュニア強化育成部会       | 於：東京・日本自転車会館 3 号館 3 階       |

< JCF オフィシャル・スポンサー >



< JCF オフィシャル・サプライヤー >



シクリスムエコー No.165 2009 年 12 月号

発行/財団法人日本自転車競技連盟  
 発行人/岩楯昭一  
 編集人/井関康正  
 編集事務局/財団法人日本自転車競技連盟事務局  
 〒107-0052 東京都港区赤坂 1-9-3 日本自転車会館内  
 TEL03-3582-3713 FAX03-5561-0508 <http://www.jcf.or.jp/>

